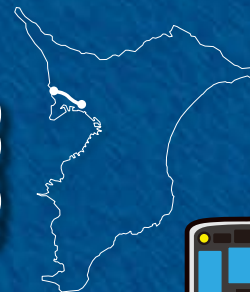




鉄道で行く千葉



第30回

京成本線 その①

Keisei Main Line Part:1



京成本線を京成津田沼駅方面に向けて走る、3000形普通電車(菅野駅～京成八幡駅間)

- 国府台
(こうのだい)
- 市川真間
(いちかわま)
- 菅野
(すがの)
- 京成八幡
- 鬼越
(おにごえ)
- 京成中山
- 東中山
- 京成西船
- 海神
(かいじん)
- 京成船橋
- 大神宮下
- 船橋競馬場
- 谷津
- 京成津田沼

◆京成本線の歴史

- ◎1912年(大正元年)11月3日
(押上〜)曲金駅(現在の京成高砂駅)〜伊予田駅(現在の江戸川駅)間が開業。
- ◎1914年(大正3年)8月30日
江戸川駅〜市川新田駅(現在の市川真間駅)間が開業。
- ◎1915年(大正4年)11月3日
市川新田駅〜中山駅(現在の京成中山駅)間が開業。
- ◎1916年(大正5年)
菅野駅開業/2月9日。
中山駅〜船橋駅(現在の京成船橋)間が開業/12月30日。
- ◎1919年(大正8年)10月25日 海神駅開業。
- ◎1921年(大正10年)
市川駅を市川国府台駅に、市川新田駅を市川真間駅に改称/4月6日。
船橋駅〜津田沼駅(現在の京成津田沼)間が開業/7月17日。
- ◎1926年(大正15年)
津田沼駅〜酒々井駅(現在の京成酒々井駅)間が開業/12月9日。
酒々井駅〜成田花咲町駅(仮)間が開業/12月24日。
- ◎1927年(昭和2年)8月21日
花輪駅(現在の船橋競馬場駅)開業。
- ◎1928年(昭和3年)
志津駅開業/3月18日。
宗吾駅(現在の京吾参道駅)開業/4月1日。
- ◎1930年(昭和5年)4月25日
成田花咲町駅(仮)〜成田駅(現在の京成成田駅)間が開業。
- ◎1931年(昭和6年)
11月18日 以下の駅を「京成」を冠した駅名に改称。
中山駅、船橋駅、花輪駅、津田沼駅、大久保駅、大和田駅、臼井駅、佐倉駅、酒々井駅、成田駅
- ◎1935年(昭和10年)
新八幡駅(現在の京成八幡駅)開業/5月1日。
中山鬼越駅(現在の鬼越駅)開業/8月3日。
- ◎1936年(昭和11年)4月10日 谷津海岸駅を谷津遊園駅に改称。
- ◎1939年(昭和14年) 谷津遊園駅を谷津海岸駅に改称。
- ◎1942年(昭和17年)11月1日 新八幡駅を京成八幡駅に改称。
- ◎1943年(昭和18年)2月1日 中山鬼越駅を鬼越駅に改称。
- ◎1944年(昭和19年)
上野公園駅(現在の京成上野駅)〜京成成田駅間を本線、
押上駅〜青砥駅間を押上線とする。

※次号につづく

京成本線は、東京都台東区の京成上野駅と千葉県成田市の成田空港駅間を京成船橋駅経由でつなぐ京成電鉄の鉄道路線。都内23区から東方向の千葉県船橋市、佐倉市、そして成田市へ向かう関東地方を代表する主要幹線の1つでもあります。都内への通勤輸送の大役を担うと共に、毎年300万人近い初詣客を誇る成田山新勝寺への参拝客輸送も本線の大きな特徴といえます。京成本線の第1回目は、江戸川を渡って最初の駅となる国府台駅から、市川市の住宅密集地を走り、京成中山駅から、京成西船駅、さらに京成船橋駅を経由して京成津田沼駅までの14駅です。1912年(大正元年)の開業以来、首都圏を形成する地域の発展に寄り添い、新しい駅の開業と延長、そして進化を続けてきた京成本線は、まさに都心と千葉県を結ぶ鉄道路線の大動脈。首都圏に暮らす人々に親しみのある活気あふれる路線です。

現在活躍中の 京成本線の車両



3400形

1993年に登場。40両が製造されました。2003年度より転落防止幌設置工事を行い、バリアプリー化を図っている車両です。



3700形

1991年3月に登場。省エネタイプとして製作した軽量オールステンレス鋼製通勤形車両で、3000形が登場するまで通勤型車両の主力となっていた車両です。



3500形

京成電鉄初のステンレス車両で、通勤型車両では最初の冷房車として1972年12月から製造されました。



3700形(6次車)

6次車からは前面のデザインを変更、新しいブレーキシステムの採用やシングルアーム式パンタグラフなどの変更を行い、より一層の安全確保に努めています。



3000形

2003年2月から登場した、京成電鉄の主力車両で、「京成グループ標準車体」と呼ばれています。



3500形(更新車)

更新車は前面のデザインが大幅に変更され、下部には障害物対策で排障器(スカート)が設置されました。



3600形

2002年10月から芝山鉄道が京成電鉄からリースしている車両で、京成電鉄の車両と共通運用となっています。



3300形

1968年に登場。1984年から1987年の間に冷房化改造工事がおこなわれ、当時では珍しい冷房車として活躍しました。



3600形

1982年5月に登場。オールステンレス車です。同型の車両が2002年から芝山鉄道にリースされていることでも知られています。



5300形

1991年3月から京成本線に乗り入れを開始した車両で、都会的センスあふれる斬新なデザインが特徴です。

京成本線を京成津田沼駅方面に向けて走る、3500形(更新車)普通車両
(京成八幡駅〜鬼越駅間)

スペシャルビューポイント



JR総武本線と船橋市街！

海神駅を出ると、車窓はさらに密集した住宅地を走行します。京成船橋駅に近づく頃、平行して路線が敷かれているJR総武本線の線路が下方に見え、その背後に船橋市の街並が眺められました。マンションや商業施設のビルが建ち並び、近年さらに発展してきた街の勢いが感じられました。



東中山駅を発車して間もない左車窓に、ビートルズの似顔絵が壁に描かれた保育園が目にとまりました。



京成西船橋駅を出てしばらく走ると、左側にJR武蔵野線の高架が見え、路線はその下を通りました。



京成船橋駅と大神宮下駅の間地点を流れる海老川を渡って走行します。青空が水面に映っていました。



大神宮下駅の少し手前の左車窓から、ビル群に囲まれるように建つ船橋大神宮の鳥居が見えました。



谷津駅へ到着する少し手前の右車窓から、路線と平行して走る国道14号がさらに接近して見えてきました。国道14号は通称「千葉街道」とも呼ばれ、千葉県と東京都を結ぶ重要な幹線道路です。

京成本線に乗って。

都内から走ってきた京成本線は、江戸川を渡って約100メートルの位置にホームがある国府台駅に到着。ここからが千葉県内の走行エリアです。車内は昼近くのせいか座席にもゆとりのある乗車率。京成西船橋駅を過ぎて間もなく、電車はJR武蔵野線の高架下をくぐりながら交差しました。住宅地に迫るような距離で走る電車は、マンションや戸建ての家々の軒先をかすめるように先を急ぎます。京成船橋駅から高校生や買い物客が乗り込んでくると、車内のムードが一気ににぎやかに。ひと駅ごとに多くの乗降客が入れ替わりながら京成津田沼駅に到着です。



国府台駅手前右側の車窓に、東京都と千葉県の境を流れる美しい江戸川の景観。東京都側は江戸川区。手前の千葉県側は市川市に続きます。



国府台駅を発車した電車は、県道1号市川松戸線と交差します。左高台には和洋女子大学の校舎ビルが見えます。



京成八幡駅を通過すると、周辺は一戸建ての住宅地が線路の左右に広がっています。



京成中山駅は、中山法華経寺の最寄駅です。駅のホームの前方左側には寺へ向かう参道が見え、人の通りにぎやかでした。

●京成本線で発見したお土産&お手軽グルメ！

京成中山駅

お休み処 田中屋

(京成中山駅改札から徒歩10分)



●衣かつぎ(きぬかつぎ)
1カゴ ¥300(税込)

中山法華経寺の門前に明治19年から店を出す茶屋。子孫繁栄にご利益がある寺にあやかり、里芋の子芋を蒸かし、塩でシンプルにいただく「衣かつぎ」が参拝客に人気のひと品になっています。

京成船橋駅

大乃家食堂

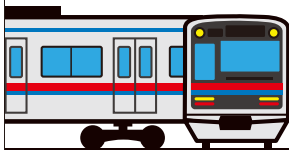
(京成船橋駅改札から徒歩約15分)



●海鮮丼
¥1,000(税込)

船橋市中央卸売市場内の関連店舗として人気の大衆食堂。口の肥えた市場で働く人たちが通う店だけに、新鮮なネタが売り。TVで放映され、一般客も市場の定食目当てに通いつめる穴場のご飯屋です。

京成本線で行く、お楽しみスポット! 家族で出かけよう。



**沿線を
そぞろ歩き**

住宅地の中を走る京成本線は、首都圏の生活都市と都心をつなぐ、まさに生活の足。駅前には商店街やマンションが密集していますが、少し足を伸ばすと海風や潮の香を感じる癒しスポットやにぎわいの市場もあります。

船橋市中央卸売市場

船橋市の中心市街地にあり、都心からも20キロ圏内という優れた立地にある船橋市中央卸売市場は、昭和44年の開設以来、地域内はもとより首都圏や北総、東葛、京葉地域にまで豊富な生鮮食品を安定供給している公設市場です。船橋産の野菜や千葉県近郊の魚の他、全国各地で生産された野菜や果物、全国の漁港で水揚げされた魚介類や加工品が鮮度を保った状態で取引されています。予約をすれば職員の方の説明を受けながら市場見学ができます。また、市場内には、70店舗で構成される関連商店舗があり、一般の人も購入できるため早朝から大にぎわい。卵や肉、豆腐や菓子、加工食品から日曜雑貨まで豊富な品揃えでお得な買い物楽しめます。和・洋・中が軒を連ねる食堂街で食べる食事もお薦めです。



▲管理棟
外観



市場内部

市場外観▶



▲鮮魚売場



▲鮮魚売場



▲乾物などの問屋街

- 市場受付時間/午前8時30分～午後4時30分
- 関連店舗営業時間/午前6時～午後1時30分
- 休業日/休市日(公式サイトのカレンダー等でご確認ください)
関連店舗:日曜・祭日、月2回の水曜日(要確認)
- 入場料/無料
- 交通/「京成船橋駅」より徒歩約15分
- 駐車場/あり 400台(無料)
- 問い合わせ・見学予約/047-424-1151(中央卸売市場管理課)
- 住所/〒273-0001 船橋市市場1-8-1
- 公式サイト
(<http://www.city.funabashi.chiba.jp/shisetsu/shiminkatsudo/0003/0001/0001/p011271.html>)

谷津干潟自然観察センター

東京湾の最奥部に残された約40ヘクタールの干潟は、シギやチドリがたくさん飛来してくることで全国的に有名なスポット。干潟の周辺は自然生態観察公園として観察路などが整備され、約3.5キロメートルの観察コースもあるので野鳥観察が気軽に楽しめます。干潟の南側にある谷津自然観察センターは、干潟や周辺に飛来してくる鳥たちを観察したり学んだりする施設として、観察コーナーや観察スコープ、野鳥図鑑などを設置しています。レクチャールームでは、毎日ビデオ上映や野鳥の解説を行っていたり、展示観察コーナーでは、子どもから大人まで遊びながら野鳥について学べる展示も楽しめます。レンジャーが案内をしてくれるので、初心者でもバードウォッチングの楽しさに触れることができます。野鳥の姿を眺めながら、ゆったりとした気分になるのも贅沢な休日の過ごし方かも知れません。



▲観察センターと干潟



▲セイタカシギのつがい



▲チゴガニ



▲ハマシギの群れ



▲春のシギチドリの大群

- 開館時間/午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日/月曜日(祝日の場合は翌平日)
年末年始(12月28日～1月1日)
- 入館料/小中学生まで無料、高校生以上:360円、65歳以上:180円
- 交通/「谷津駅」から徒歩30分
- 駐車場/あり(無料)普通車100台、大型バス5台(要予約)
- 問い合わせ/047-454-8416
- 住所/〒275-0025 習志野市秋津5-1-1
- 公式サイト(<http://www.yatsuhigata.jp/>)

駅前発見! 探してみよう!

江戸川河川敷を見下ろして 建つ市川閘所跡!

国府台駅から江戸川河川敷に向かって5分ほど歩くと、高台に「市川閘所跡」と刻まれた石碑が建っていました。江戸川にまた橋が架かっていなかった江戸時代に、小岩と市川を舟による「渡し」が活躍していました。その渡しの番所が「閘所」となり、人々の往来を厳しく見張っていたそうです。その閘所跡が、今では江戸川の堤防の上で、河川敷を散歩する人々を眺めるように建っています。



調べてみよう! 京成本線クイズ?

京成本線が都内から千葉県
に入る際に渡る川は?

1. 江戸川
2. 利根川
3. 海老川

※正解は次号紙面で!

※前回のクイズの正解。JR成田線
我孫子支線の最北起点駅の名前
は?「3」我孫子駅でした。

写真提供:撮影協力/お休み処 田中屋 大乃家食堂 船橋市中央卸売市場 谷津干潟自然観察センター

2012.3(次回発行)/2012年4月23日



京葉銀行



この冊子の印刷には、
環境に配慮した植物性インキを
使用しています。